

様式 C-7-1

平成30年度科学研究費助成事業（科学研究費補助金）実績報告書（研究実績報告書）

所属研究機関名称		東京外国語大学	機関番号	12603
研究代表者	部局	大学院総合国際学研究院		
	職	教授		
	氏名	川口 裕司		

1. 研究種目名 基盤研究(B)(一般) 2. 課題番号 16H03442

3. 研究課題名 フランス語、ポルトガル語、日本語、トルコ語の対照中間言語分析

4. 研究期間 平成28年度～令和元年度 5. 領域番号・区分 -

## 6. 研究実績の概要

フランス語研究班では、東京外国語大学で14名、西南学院大学で11名、名古屋外国語大学で3名の日本語を母語とする中上級学習者の言語データの収録と作文タスクを実施した。今後、これらの文字化を行う。また、2017年のデータを文字化し、データに誤用タグを付加するための基準について検討を始めた。このほか学習者言語データに現れる談話調整辞について分析を行い、学習者に特有の発話ストラテジーを分類した。さらに作文コーパスに基づき、名詞の修飾形態を分析し、研究成果を海外のフランス語教育学会で発表した。ポルトガル語研究班は、東京外国語大学と上智大学において、B1レベル以上の留学経験のある中上級学習者について言語調査を複数回行い、全体で6名の言語データを収録した。

日本語研究班では、フランス語を母語とする学習者6名、トルコ語を母語とする学習者4名、中国語を母語とする学習者29名について、INALCO、パリ第7大学、東京外国語大学、西南学院大学、名古屋外国語大学で、それぞれ言語データの収録を行った。また分析結果の一部を国際会議および国内学会で発表した。トルコ語研究班は、東京外国語大学で日本語を母語とする学習者8名、INALCOでフランス語を母語とする学習者5名の言語データを収録した。また、ボアジチ大学とINALCOの研究社と協働し、音声分析と知覚テストを行い、国内学会で研究発表した。

2018年度は研究会を東京、名古屋、博多で3度実施し、データの管理方法とコーパス化の方針、中間言語分析Webページの概要を決定した。また11月にパリ第7大学の犬島弘子准教授を招いて「言語コーパスと学習者言語をめぐって」と題する国際ワークショップを開催した。

## 7. キーワード

学習者言語コーパス 第二言語習得 対照分析

## 8. 現在までの進捗状況

区分 (2) おおむね順調に進展している。

理由  
海外研究者の協力を得て、各言語における調査項目が2018年度までに確定された。当初不安のあったトルコ語・ポルトガル語についても2018年度に調査を実施することができ、学習者言語データの蓄積が開始された。また梅野を新たに分担者に加えたことで、学習者中間言語Webページが開発され、すでに運用を開始している。このように、中間言語の収集と分析に関しては着実に進んでいると言える。

他方、当初計画に予定されていたトルコ語話しことばデータの文字と音声データの同期作業は、残念ながら経費の関係から2018年度は断念をせざるを得なかった。

3版

## 9. 今後の研究の推進方策

今後も学習者言語データの収集を継続する。また学習者言語と母語話者言語の対照分析を行うことで、言語教育への示唆の可能性を探る。これまでも分担者が、既存のフランス語教材と話しことばにおけるリエゾンの相違点を分析している。また学習者と母語話者の語彙使用の類似点と相違点を分析した。しかしこうした研究成果を直接に教材の中に反映するのは困難と言える。対照分析が優れたものであっても、その成果を教育に応用する方策は、なかなか見つからないのである。それでは言語教育への応用・示唆とは何なのであるのか。たとえば、教師や学習者が、学習者言語データと母語話者言語データへアクセスすることができること、学習者言語の特徴について平易な概説を作成すること、Web等による代表的な例の提示、等が考えられよう。今後はこれらの実現に向けて取り組む予定である。

最終年度であることから、対照中間言語分析および言語コーパスに関する国際ワークショップを開催する予定である。

## 10. 研究発表（平成30年度の研究成果）

〔雑誌論文〕 計8件（うち査読付論文 6件 / うち国際共著論文 3件 / うちオープンアクセス 4件）

1. 著者名 BARCAT Corentin, KAWAGUCHI Yuji	4. 巻 44
2. 論文標題 Les variations phonétiques des francophones en lecture de texte Analyse des liaisons chez 8 locuteurs	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Flambeau	6. 最初と最後の頁 103,117
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -
1. 著者名 SUGIYAMA Kaori	4. 巻 30
2. 論文標題 Analyse de la compétence lexicale dans la compréhension écrite des apprenants japonais en français	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Revue japonaise de didactique du français	6. 最初と最後の頁 502,514
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 該当する
1. 著者名 SUGIYAMA Kaori	4. 巻 13
2. 論文標題 Auto-evaluation : outil pour la motivation ?	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Revue Japonaise de Didactique du Français	6. 最初と最後の頁 228,241
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 杉山香織	4. 巻 62
2. 論文標題 フランス語学習者のリスニング能力 - ディクテーションタスクに基づく分析	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 西南学院大学フランス語フランス文学論集	6. 最初と最後の頁 109,124
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 杉山香織	4. 巻 21
2. 論文標題 フランス語初中級学習者の受容語彙知識	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 外国語教育研究	6. 最初と最後の頁 39,53
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 AKIHIRO Hisae	4. 巻 1
2. 論文標題 Discourse function of apres in French informal conversation	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Proceedings of the 4th Asia Pacific Corpus Linguistic Conference	6. 最初と最後の頁 21,28
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 布村猛、海野多枝	4. 巻 21
2. 論文標題 上級学習者と初級学習者の日本語音声 - ディフレーシングの生起に注目して	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 外国語教育研究	6. 最初と最後の頁 91,104
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

3版

1. 著者名 FONTAN Lionel, LE COZ Maxime, DETEY Sylvain	4. 巻 1
2. 論文標題 Automatically measuring L2 speech fluency without the need of ASR: a proof-of-concept study with Japanese learners of French	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Proceedings of Interspeech2018	6. 最初と最後の頁 2544, 2548
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

〔学会発表〕 計12件 (うち招待講演 1件 / うち国際学会 6件)

1. 発表者名 伊藤玲子, 清宮貴雅, 川口裕司
2. 発表標題 日本人フランス語学習者の自由会話におけるonの一考察
3. 学会等名 外国語教育学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 川口裕司
2. 発表標題 日本語を母語とするトルコ語学習者におけるR音について
3. 学会等名 外国語教育学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 DETEY Sylvain, RACINE Isabelle, KAWAGUCHI Yuji
2. 発表標題 Dix ans d'IPFC : breve retrospective et perspectives de developpement
3. 学会等名 Journee Floral-(I)PFC-IPFC 2018 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 KAWAGUCHI Yuji
2. 発表標題 Projet d'adaptation en japonais du volume "Les varietes du francais parle dans l'espace francophone"
3. 学会等名 Journee Floral-(I)PFC-IPFC 2018 (国際学会)
4. 発表年 2018年
1. 発表者名 黒澤直俊
2. 発表標題 ポルトガル語におけるCEFRの適用：機能シラバスから文法シラバスへ
3. 学会等名 外国語教育学会
4. 発表年 2018年
1. 発表者名 YAMAGUCHI Nami, SUGIYAMA Kaori
2. 発表標題 Les modificateurs du SN dans la production ecrite chez les apprenants japonais en francais
3. 学会等名 Colloque international 2018, Les nouvelles strategies de l'enseignement du francais : enjeux et innovations (国際学会)
4. 発表年 2018年
1. 発表者名 杉山香織
2. 発表標題 フランス語学習者における受容語彙知識の経年変化
3. 学会等名 外国語教育学会
4. 発表年 2018年

3版

1. 発表者名 AKIHIRO Hisae
2. 発表標題 L'emploi de apres en tant que connecteur - evolution et variation
3. 学会等名 50 ans de linguistique sur corpus oraux : Apport a l'etude de la variation (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 UMINO Tae
2. 発表標題 Study-Abroad in Japan in Pictures: Photographs as Data in Life-Story Narrative Research for Second Language Learning and Identities
3. 学会等名 CLaSIC 2018 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 NUNOMURA Takeshi, UMINO Tae
2. 発表標題 Using metalinguistic knowledge in L2 instruction of Japanese prosody
3. 学会等名 CLaSIC 2018 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 近藤野里
2. 発表標題 ケベック州で出版されたフランス語教科書と話し言葉としてのケベック・フランス語の語彙的・統語的特徴
3. 学会等名 日本ケベック学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 近藤野里
2. 発表標題 ケベック州で出版されたフランス語教科書にみられる社会言語学的特徴の反映の方法
3. 学会等名 外国語教育学会
4. 発表年 2018年

## 〔図書〕 計4件

1. 著者名 DETEY Sylvain、DURAND Jacques、LAKS Bernard、LYCHE Chantal、川口 裕司、矢頭 典枝、秋廣 尚恵、杉山 香織	4. 発行年 2019年
2. 出版社 三省堂	5. 総ページ数 232
3. 書名 フランコフォンの世界	
1. 著者名 西山教行(監訳)、石丸久美子、大山万容、杉山香織	4. 発行年 2018年
2. 出版社 勁草書房	5. 総ページ数 248
3. 書名 バイリンガルの世界へようこそ	
1. 著者名 杉山香織、野澤督、姫田麻利子	4. 発行年 2019年
2. 出版社 朝日出版社	5. 総ページ数 168
3. 書名 コフレ - フランス語基礎単語集	

3版

1. 著者名 大島弘子（編）秋廣尚恵、岩内佳代子、牛山和子、大島弘子、神山剛樹、黒沢晶子、砂川有里子、竹村亜紀子、中尾雪江、中島晶子、中村デロワ弥生、野田尚史、ジャン・バザンテ、東伴子	4. 発行年 2018年
2. 出版社 ひつじ書房	5. 総ページ数 272
3. 書名 フランス語を母語とする日本語学習者の誤用から考える	

## 11. 研究成果による産業財産権の出願・取得状況

計0件（うち出願0件 / うち取得0件）

## 12. 科研費を使用して開催した国際研究集会

計0件

## 13. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関			
トルコ	Bosphorus University	-	-	-
フランス	INALCO	Universite Paris Diderot	-	-
-	-	-	-	-
-	-	-	-	-
-	-	-	-	-
-	-	-	-	-

## 14. 備考

フランス語，ポルトガル語，日本語，トルコ語の対照中間言語分析  
<http://www.tufs.ac.jp/ts/personal/ykawa/index.php?id=312>  
 対照中間言語プロジェクト（非公開）  
<http://www.coelang.tufs.ac.jp/interlang/>